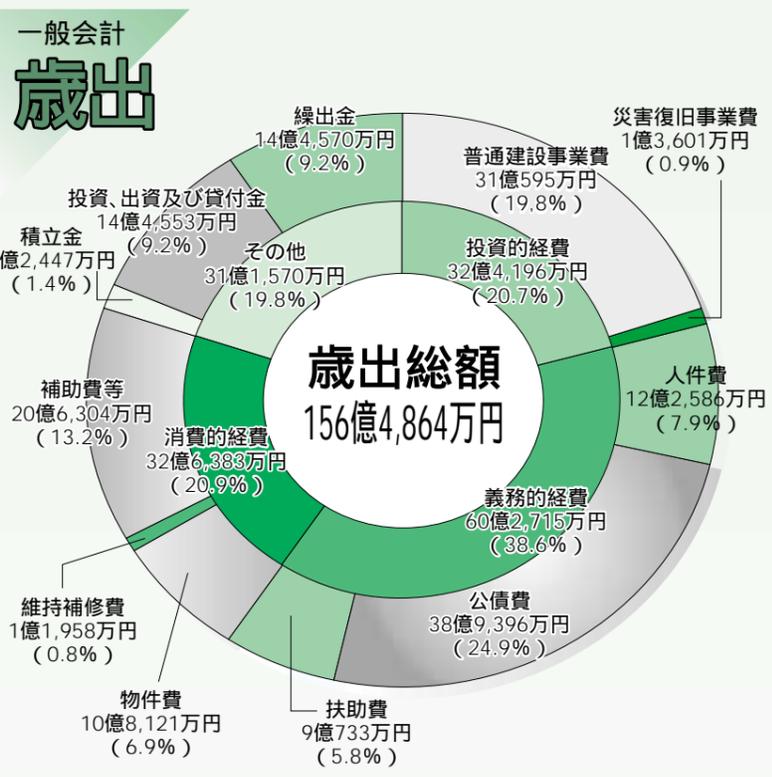
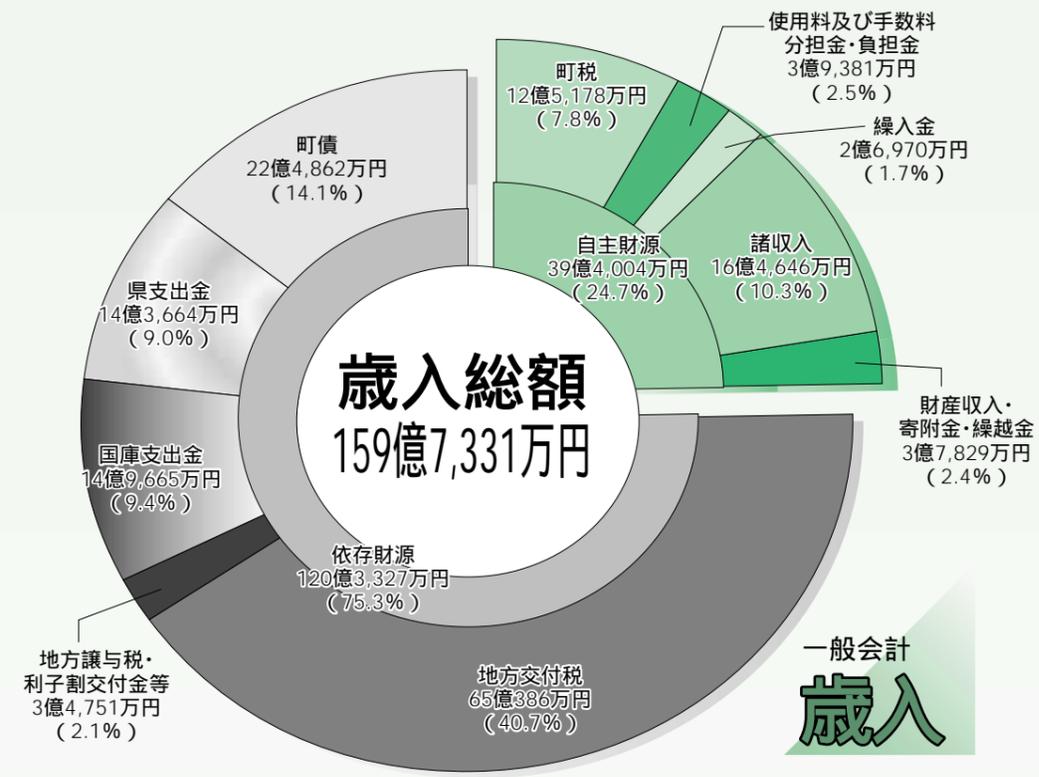


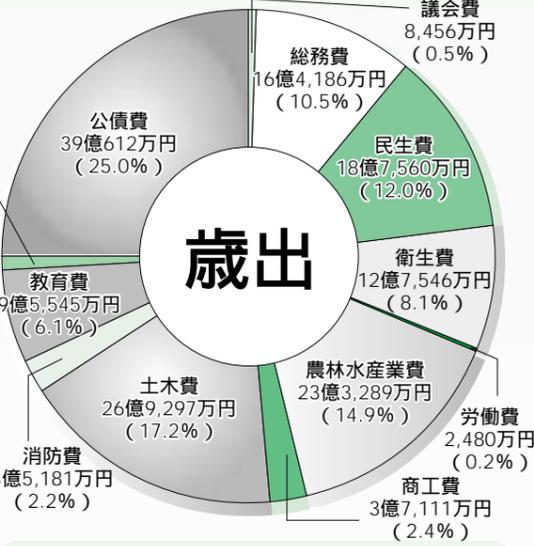
奥出雲町決算報告



平成20年度に実施した主な事業

- 一般会計
 - ・移動用通信鉄塔整備事業 (真地地区携帯電話鉄塔施設整備)1億2,072万円
 - ・ダム対策事業 (山林管理道岩田線代替)1億2,740万円
 - ・もち米処理加工施設整備事業4億5,500万円
 - ・基盤整備促進事業 (金川地区ほ場整備事業)8,678万円
 - ・特用林産施設整備事業 (舞茸奥出雲資産買取事業)1億6,542万円
 - ・交流館三国大規模改造事業1億5,004万円
 - ・道路新設改良事業 (町道佐北原線等)8億4,626万円
 - ・町営住宅建設事業 (滝の上第1団地建替)3億2,674万円
 - ・中学校大規模改修・耐震改修事業 (横田中学校管理教室棟)1億5,688万円
 - ・農業施設災害復旧事業 ...8,430万円
 - 簡易水道事業特別会計
 - 大馬木地区簡易水道再編推進事業1億6,630万円
 - 公共下水道事業特別会計
 - 横田地区1億5,668万円
 - 農業集落排水事業特別会計
 - 馬木地区(大馬木処理区)1億7,800万円
 - 合併浄化槽事業特別会計
 - 市町村設置型合併処理浄化槽設置 (町内全域) 65基8,701万円
- 平成19年度からの繰越事業を含む

H20奥出雲町一般会計決算額 歳出・目的別内訳



【表2】特別会計決算の状況

会計名	歳入	歳出	差引残高
町立奥出雲病院事業特別会計 (収益的)	19億437	19億1,140	703
町立奥出雲病院事業特別会計 (資本的)	1億3,331	3億1,092	17,761
国民健康保険事業特別会計 (事業勘定)	17億4,759	17億1,287	3,472
後期高齢者医療保険事業特別会計	3億3,800	3億3,776	24
老人保健事業特別会計	2億4,154	2億4,154	0
介護老人保健施設事業特別会計	3億5,365	3億5,365	0
介護サービス事業特別会計	3億6,561	3億6,561	0
訪問看護ステーション事業特別会計	1,868	1,861	7
簡易水道事業特別会計	8億9,213	8億9,128	85
公共下水道事業特別会計	4億420	4億371	49
農業集落排水事業特別会計	5億8,895	5億8,799	96
合併処理浄化槽事業特別会計	1億4,127	1億4,079	48
仁多発電事業特別会計	1,286	1,081	205
三井野原スキーリゾート事業特別会計	1,084	1,084	0
国営農地開発事業特別会計	8,415	8,415	0

【用語解説】
 1 経常収支比率とは：財政の健全度を見る最も大切な指標で、町の歳入である地方交付税と町税等に対し、決まって支出しなければならぬ人件費や借入金の返済、常備消防等への負担金や補助金などの割合を示す指標で低いほど財政の弾力性があることを示します。
 2 起債許可制限比率とは：公債費のうち交付税措置があるものを除いた正味の公債費を表し、この比率が高くなるほど、財政構造が硬直化している状況となります。危険ライン(15%)を越えないよう財政の健全化が求められています。

【主な財政指標】
 経常収支比率 1)は86.2%で昨年と比べ2.4%の減となりました。これは平成19年度に行った三井野原スキーリゾート会計累積赤字補填繰越金及び全国和牛能力共進会出品対策事業補助金の皆減、土地改良区負担金補助金の減によるもので、財政の硬直化はわずかではありますが改善されました。
 また、起債許可制限比率(3カ年平均) 2)は、昨年度と比べ、14.0%と1.3%ポイント減少しました。

一般会計
 歳入 歳入決算額は159億7,331万円、前年度と比較すると7億4,935万円(4.0%)の減となりました。歳入決算額のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、町債、自動車取得税交付金等を合計すると75.3%で、依然として国や県に依存した財政構造となっています。
歳出
 歳出決算額は156億4,864万円、前年度と比較して7億8,176万円(5.0%)の減となり、特に投資事業では、もち加工施設整備事業、交流館三国大規模改造事業、町道新設改良事業、滝の上第1団地建替事業、横田中学校大規模改修・耐震改修事業など生活基盤及び産業基盤整備を実施しましたが、情報基盤施設整備事業などの大型事業が平成19年度で終了したことから、前年度比16億7,912万円の大幅な減となりました。
特別会計
 一般会計と区別して処理する会計として、13の特別会計があり、その決算は表2のとおりとなりました。
 各特別会計に対する一般会計からの繰越金は、奥出雲病院事業会計に3億2,502万円、国民健康保険事業特別会計に1億2,977万円、後期高齢者医療保険事業特別会計に2億3,194万円、老人保健事業特別会計に2,144万円、介護サービス事業特別会計に1億8,977万円、簡易水道事業特別会計に3億7,730万円、公共下水道事業特別会計に1億8,900万円、農業集落排水事業特別会計に2億1,850万円、合併処理浄化槽事業特別会計に1,890万円、三井野原スキーリゾート事業特別会計に4,800万円、国営農地開発事業特別会計に7,390万円となっています。

平成20年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月定例議会で認定されました。町民の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたか、町の家計簿をお知らせします。

平成20年度の決算について